

第138号

第26号

館報

ちほう × 会報 かけはし

致芳コミュニティセンター

致芳地区ふるさとづくり促進協議会

合同ダイジェスト版！

八里ギリっと歩いたぞ！

りんごで栄養補給！ ～第62回一日八里秋の陣～



ごあいさつ

致芳コミュニティセンター館長 横澤 敏

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、良いお正月を迎えられたこととお喜び申し上げます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

昨年よりも荒れた年末年始となりました。正月早々の箱根大学駅伝競走大会をはじめとする各種スポーツイベントでの選手の頑張りと活躍に元気をもらいながら、年頭における新たな決意に刺激を受けております。変異を繰り返す新型コロナウイルスには、第6波の不安も増しつつあるこの頃ですが、ワクチンや治療薬の普及により明るい兆しも見えるのではと感じています。しかし、もうしばらくは気を緩められない毎日が続くことは覚悟せざるを得ません。

さて、令和3年度も何かと制限が続くなかではありましたが、新しい試みや発見できたものも数多くありました。地域に残る宝や見どころを再発見しながらの「グルっと！致芳ふるさとウォーキング」、伝統織物の端切れを活用した「小物づくりのワークショップ」、致芳小学校PTAとの連携によるスキー用具の「おさがりフリーマーケット」、住民の皆様のご理解とご協力を頂いた「ALL致芳市」も大いに賑わいを見せました。小学校と地域、コミセンとが一体となって地元を大事にして地域づくりを進めていることに誇りを感じています。

また、新聞報道でも取り上げられご存知の事とは思いますが、新年度からコミセンが法人へと移行しても、これまで積み上げてきた地域とのかかわりやともに地域を盛り上げていこうという想いに変わりはございません。これまでどおり地域の特色を活かした事業の展開や地域の中のコミセンは決して変わらないということです。より良い事業を展開するための補助金の確保や職員の処遇待遇改善等に大きなメリットが得られる見込みです。詳しくは後日改めて説明の機会を設けたいと思いますが、期待されるメリットには今以上に大きなものがあると思われまます。是非、引き続きのご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和4年1月14日発行

発行元：致芳コミュニティセンター 館長 横澤 敏 致芳地区ふるさとづくり促進協議会 会長 鈴木 義一

編集：致芳コミュニティセンター地域交流部会長 菊地 伸

TEL：0238-84-6337 FAX：0238-84-3456 E-mail：chihou-k@jan.ne.jp

致芳コミュニティセンター

検索

